

令和6年度 第1回 地域密着型サービス運営推進会議報告書

施設名：グループホーム水の元

日 時：令和6年5月28日(火)10:00～11:00

場 所：グループホーム水の元 中央ホール

出席者：利用者代表2名 高齢者あんしん支援センター職員1名

利用者家族1名 出雲市職員1名

長浜コミュニティセンターセンター長様

地域住民代表1名

水の元職員2名

議題

1 近況報告

- (1) 入居状況
- (2) 活動報告
- (3) 事故報告
- (4) ヒヤリはっと報告
- (5) 身体拘束適正化・虐待防止に向けた取り組みについて
- (6) 苦情報告

2 職員研修

3 その他

1 近況報告

(1) 入居状況（令和6年5月末現在）

17名入居中（ヒガシヤ8名、ニシヤ9名）

性別：男性3名、女性14名

平均年齢：男性86歳、女性88.2歳

平均介護度：要介護1.9

待機者数：8名

■要介護度別

要介護度	人数
要支援1	0名
要支援2	0名
要介護1	7名
要介護2	5名
要介護3	4名
要介護4	1名
要介護5	0名
合計	17名

■年齢別利用者数

年齢層	人数
65歳未満	0名
65～69歳	0名
70～74歳	0名
75～79歳	0名
80～84歳	5名
85～89歳	6名
90歳以上	6名
合計	17名

4月：女性1名退所。

心不全のため入院。御家族は治療か施設に戻って本人らしい生活をするか悩まれた。施設での生活（施設で出来る事、出来ない事、リスク）について何度も話をし一時は退院を諦められた御家族だったが最後には施設に戻る事を決断。しかし施設に戻る事なく逝去。

5月：女性1名退所。

化膿性脊髄炎のため入院。治療は終了したが食事が摂れず。医療的ケアの継続を御家族が希望され退所。

(2) 活動報告

「水の元だより」参照

《ヒガシヤ》

3/30 御家族にも協力をしていただき施設周辺の除草作業。

4/7 稲佐の浜の清掃ボランティアの活動に参加。その後、出雲大社で参拝・花見。

その他の方も長浜神社に花見外出。

5/22 97歳の誕生日外出。ご本人が希望された回転ずしで外食

《ニシヤ》

御家族と一緒に思い出の神社への外出

《全体》

- ・隔週で移動販売のパン屋さんに来ていただき希望者は好きなパンを選んでもらっている。
- ・食材購入のために週に 2 回買物外出。食材を選んでもらったり自分の物を購入してもらったりされている。
- ・介護相談員来所。利用者様が洗濯、調理をする姿を見られる。

(3) 事故報告 (令和 6 年 5 月末日現在、単位：件)

事 故 内 容		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1	転倒・尻もち	3	3											
2	転落・ずり落ち	3												
3	誤嚥													
4	離設													
5	誤薬・薬	2	2											
6	異食													
11	その他	1				2								
合計														

- ・体調不良者の転倒
- ・椅子への座り損ねなど

(4) ヒヤリはっと (4～5月)

フラツキ 3 件 離設 2 件 その他 2 件

(5) 身体拘束廃止委員会・身体拘束適正化委員会

身体拘束はありません。

毎月のユニット会議でケアにおける確認を行っており身体拘束に繋がる様な声掛けにならない事も注意しています。

職員の人数が少ない時間帯の時に利用者様が玄関に向かわれるとどうしてもリビングに入ってもらい様な声掛けをしてしまう。

(6) 苦情報告

苦情はありません

2 職員研修

事故対策についての研修

3 その他（自由意見）

《水の元より》

・各ユニット1名ずつ利用者様の代表として運営推進会議に参加していただいていたのですが毎回同じ利用者様ではなくても良いのでは？違う利用者様が出席され色々な声を聞けた方が良いのではないかと？うまく答えられない方もいるかもしれないがそれが現状だから現状をみてもらった方が良いと思う。という貴重な意見をいただきましたので今年度から利用者様に限りその形をとっていかうと思います。

《質疑応答》

・パン屋の移動販売は利用者様が楽しまれるので良いと思います。マックスバリューも移動販売をしている。利用者様の好きな物、パン以外でも選ぶ事が出来るので使ってみてはどうか？

⇒ありがとうございます。検討してみます。

・介護相談員は特養やサ高住にも訪問するので洗濯や調理の場面は驚いたかもしれない。最近グループホームでも人材不足で外部委託されている所もある。

⇒人員に余裕があるわけではないが食事作りは利用者様の役割となっているので今後も継続していく予定。

・お手伝いされる利用者様は大体決まっているか？介護度1の方、動かれる方が多いですか？

⇒大体決まっている。動かれても転倒の危険性がある方も何人かいらっしゃる。

・70代の方がいなくなった。洗濯干しのお手伝いをしている姿を時々見るが元気だなと思って見ている。

離設の話があったが施設横の道路の交通量も多いし高校生の自転車もスピードを出しているの
で気をつけてほしい。

⇒ありがとうございます。利用者様も玄関から出られるとは限らず、どの方向に行かれるかも分からないので気をつけます。

⇒(御家族より)自宅にいる時も外に出て大変だった。施設に入り明るく穏やかになった。

・職員1人に対して車椅子の利用者1名と歩かれる利用者の散歩を見た事があった。

何かあった時、対応出来ないのでは？と思った事がある。

⇒貴重な意見ありがとうございます。

・転倒の事故について。眠前薬を服薬されている事に関係していないか？

眠前薬を服薬されている方もいらっしゃいますが減量、中止の方向にしているので事故との因果関係は薄いと考えています。

・センサーマット使用すると発見が早いのでは？

⇒ベッドからずり落ちた方はセンサーが必要ない様な自立の方でした。

また、センサーが鳴って職員がすぐに訪室をする事で驚かれる場合もあるので現在は2人しか使用していません。

・利用者様の作品など展示がありますか？作品があればコミセンの文化祭などに展示されても良いですよ。

⇒ありがとうございます。細かい作業はなかなか出来ない方が多いですが施設内でも数点展示

はしてあす。

・将棋をされる利用者様の相手がなかなかおられなくて困っています。利用者御家族様にお願いした事もありましたがどなたかいらっしゃいませんか？

⇒今市将棋会館・シルバー人材センターなど案をくださる。